



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.65

Edition November 22nd, 2018

WKF 世界大会報告

■ WKF 理事選挙

11月6日(火)～11日(日)にわたり、第24回WKFシニア世界大会をスペイン・マドリードで開催しました。

そして、このたび大会に先立って開催されたWKF理事選挙において、理事および事務総長に再任いたしました。任期は2018年より4年です。

会長、副会長、財務担当はすべて再任、この体制で東京2020、そしてパリ2024オリンピックに向けて連盟を運営していきます。

また、総会においてはナウル共和国空手連盟の加盟が承認され、WKFの仲間が増えました。



WKF理事一同、第1回理事会にて。

■ 競技 ヨーロッパの再興

競技については前回大会と異なり、金メダルが11の国に分散し、日本、イランを除くと「ヨーロッパの再興」という印象が強い大会となりました。オリンピックに向けた選手強化に各国が注力している結果であると改めて実感します。

WKF理事および名誉役員 (2018.11～)

会長	アントニオ・エスピノス	スペイン	理事	ウィリアム・ミラーソン	キュラソー
事務総長	奈藏 稔久	日本	理事	トニー・メンデス	プエルトリコ
財務担当	マイケル・ディンズデール	イギリス	理事(新任)	マリア・フロレス	チリ
副会長	ホセ・ガルシア・マニオン	アルゼンチン	理事	スレイマン・ゲイエ	セネガル
副会長	ベシル・シェリフ	チュニジア	理事	デュドネ・オコンビ	コンゴ共和国
副会長	グナール・ノルダール	ノルウェー	理事	ダビデ・ベネテロ	イタリア
副会長	フランシス・ディディエ	フランス	理事(大陸)	張光輝	中華台北
副会長	ナセル・アルラズーキ	UAE	理事(大陸)	ジリー・ボツェック	チェコ
副会長	ウォルフガング・ワイガート	ドイツ	理事(大陸)	マイケル・カシス	オーストラリア
理事	イブラヒム・アルガナース	サウジアラビア	理事(大陸)	ジョン・ディパスクアレ	アメリカ
理事(新任)	サナオフ・ジャスタラップ	カザフスタン	理事(大陸)	モハメド・メスバヒ	アルジェリア
理事	エサット・デリハサン	トルコ			
理事	イルサ・ランキ	フィンランド	名誉会長	笹川 堯	日本
理事	マカリタ・レノア	フィジー	名誉委員	竹田 恒和	日本

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.65

Edition November 22nd, 2018

■形ルール的大幅変更

理事会では競技ルールの変更が承認されました。既報の通り、もっとも大きな変更点は形の判定をフラッグ制から点数制とすることです。

2019年1月1日より施行する新しい形ルールの要点は、次の通りです。

- ・7名の審判員による点数評価とする
- ・競技点と技術点の2種類の点数をつける
- ・プール制トーナメントとする
- ・出場者64名の場合、演武する形の数は「4」

■IOC委員が多数来場

今大会は、多くのIOC委員や各国NOC(国内オリンピック委員会)役員にご出席いただくことが叶いました。

IOC委員では元陸上選手のセルゲイ・ブブカ氏、故・サマランチIOC会長の子息であるサマランチ氏、WKF名誉委員を務めていただいている竹田恒和JOC会長、ホセ・ペルレナIWGA会長らが観戦されました。

ブブカ氏には、WKFアントラージュ委員会会議においても有益なアドバイスをいただきました。アントラージュとは「取り巻く」という意味で、競技



左から3人目がIOC委員で棒高跳びのオリンピック金メダリスト、セルゲイ・ブブカ氏。

連盟、コーチ、サポートスタッフ、審判や家族まで選手を取り巻く全関係者のことを指します。

アントラージュがその役割の中で健全に発展していくために必要な体制を模索し、構築するのが同委員会の使命です。

例を挙げると、「スポーツ指導者による選手へのハラスメント問題に関して、指導者教育や選手の救済にどのように取り組むか」といった業務です。近年、アントラージュ委員会の重要性は急激に高まっています。

■オリンピック・スポーツとして

ところで、観戦していたブブカ氏から、「1つだけ照明が暗いコートがある」との指摘を受けました。

アリーナ中央から離れたコートは、確かに他のコートと比べて照明が届きにくかったのですが、とくに支障はなく、競技を進めていたのです。

しかしブブカ氏が問題視したのは明るさの程度ではなく、公平性でした。「すべての選手が公平な条件で競技するべきであり、全コートの環境は同一でなければならない」という観点からの指摘だったのです。

WKF世界大会の初開催から48年が経ちました。回数を重ねたことで我々空手関係者が当たり前に感じている環境も、オリンピック・スポーツとしてさらに厳しい視点・感覚で再評価する必要があります。

世界空手連盟 事務総長

奈藏稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp